

議事1 釜石市指定文化財候補物件について

1 釜石市指定文化財候補物件の現状

市内に所在する文化財の中で、市指定を推進する物件は下表のとおりである。

○有形文化財

種別	候補物件	所有者	担当委員
歴史資料	常龍山碑	天照御祖神社	河東委員

○無形文化財・民俗文化財

種別	候補物件	所有者	担当委員
無形民俗	松倉太神楽	松倉町内会	第2専門部会
無形民俗	松倉虎舞	松倉町内会	第2専門部会

○史跡名勝天然記念物・埋蔵文化財

種別	候補物件	所有者	担当委員
天然記念物	(仮) 新規発見の和山のシナノキ		第3専門部会

2 釜石市指定文化財候補物件の追加について

議事2 釜石市指定文化財「明神かつら」の倒伏について

1 釜石市指定文化財「明神かつら」の概要

- ・ 指定年月日 昭和48年2月27日
- ・ 樹齢：推定500年以上（樹高37m、幹周1,140cm、根元周1,700cm）
- ・ 概要

「明神かつら」は古くから神木として崇められ祀られている。かつらは他の樹種にくらべ、側枝や不定芽の発育が旺盛で、「明神かつら」の場合は、中心樹幹の周囲から多数の新条が萌発成長して「千本かつら」になったものである。この成因は、中央の主幹が枯死、腐朽していますが、おそらく500年以上の巨木であったもので、周囲から伸長した側枝が林立して、枯損したものを加えると16本にもなる。

「明神かつら」は巨樹というだけでなく植物生態学上貴重な存在である。



倒伏前の明神カツラ

2 倒伏状況

- ・ 確認日 令和7年9月20日（倒伏の第一報 9月19日）
- ・ 参加者 藤原信孝会長、小笠原太課長、加藤幹樹主査
- ・ 倒伏要因 木幹部分の空洞化
- ・ 倒伏被害 明神かつら数本の内、一本の大木が倒伏
かつら明神社殿鞆堂を直撃し損壊・人的被害なし



3 第3専門部会による調査

- ・ 確認日 令和7年10月3日
- ・ 参加者 藤原信孝会長、瀬戸元副会長、佐々木光壽委員、市川淳子委員
小笠原太文化財課長、手塚新太課長補佐、加藤幹樹主査
- ・ 調査結果 倒伏した部分の一部であり、指定文化財の価値を損なうものではない
倒木の処理については、所有者の意見を踏まえる必要がある
地域で管理するかつら明神は、社殿は損傷しておらず、鞆堂が損傷して
いる。かつら明神の取り扱いは地域で検討していただく

議事 3 第 27 回釜石市郷土芸能祭の開催内容について

1 釜石市郷土芸能祭の概要

市内に伝わる郷土芸能について、広く市民に周知を図るとともに、伝承活動に携わっている団体に活動発表の機会を提供することにより、郷土芸能の次世代への確実な伝承と継承者の育成のために実施する。なお、令和 7 年度は 27 回目の開催となる。※有形文化財公開事業と隔年で実施する。

2 開催日 令和 8 年 2 月 8 日（日）（リハーサルは前日を予定）

3 開催場所 釜石市民ホール TETTO ホール A

4 運営主体 釜石市文化財保護審議会第 2 専門部会

5 出演団体

- ・市内団体 最大 8 団体
- ・市外団体 最大 1 団体

議事 4 その他

1 文化財パトロールについて（案）

- 1) 調査日時 令和 7 年 11 月 6 日（木）9 時～12 時
- 2) 調査箇所 常龍山之碑ほか（唐丹町 天照御祖神社）
- 3) 参加者 釜石市文化財保護審議会

2 「高校生とめぐる釜石の戦跡」開催結果

- 1) 開催日 7 月 21 日（月・祝） 9 時～12 時 30 分
- 2) 実施場所 薬師公園（平和の女神像）、小川防空壕、大平公園（日中永遠平和の像）ほか戦後 80 年 高校生とめぐる戦争遺構
- 3) 案内 佐藤 凜汰朗さん（岩手県立釜石高等学校・高校生平和大使）
中澤 大河さん （岩手県立釜石高等学校）
- 4) 参加者数 20 人

3 「戦後 80 年釜石と戦災～未来に伝えるために～」開催結果

- 1) 開催日 令和 7 年 8 月 3 日（日）
- 2) 開催場所 釜石市民ホール TETTO
- 3) 開催内容及び参加者数
 - ①映画上映会 「廃墟と化した鉄の町 釜石艦砲射撃の記録」の上映
 - ・開催時間 10 時 30 分～12 時 00 分
 - ・開催場所 ホール A
 - ・上映協力 釜石市民ホール
 - ・来場者数 130 人

②講演会・パネルディスカッション

【講演会】

- ・開催時間 13 時 00 分～15 時 05 分
- ・開催場所 ホール A
- ・基調講演 「わたしの戦争時代の思い出」
講師：佐野睦子さん（戦争体験者）
「戦争の記憶～未来への継承～」
講師：小暮聡子さん（「ニューズウィーク」日本版記者/
編集者/・「幸福の時」著者）

「エローイ・リンダイヤさんとメリンダ・バーンハートさん
からのメッセージ」(御本人が登壇)

・来場者数 150人

【パネルディスカッション】

・コーディネーター 柴田渥さん(郷土資料館運営委員会委員長)

・パネラー 佐野睦子さん、小暮聡子さん、千田雅恵さん(颯・2000代
表)、川村吉さん(甲子中学校教諭)、佐藤凜汰朗さん・中澤
大河さん(釜石高校)

・質問者 平和・防災学習事業参加の中学生による質問(質問は2人
程度:出席生徒は客席に10人)ほか

・来場者数 150人

③パネル展示

・開催時間 10時30分～16時00分

・開催場所 ホールB

・内容 戦後80年に係るパネル展示

・来場者数 150人

4 かまいし歴史文化プロモーションを通じた関係人口創出事業

『郷土芸能体験教室』開催結果

1) 開催日時 令和7年8月11日(月・祝)

2) 開催場所 イオンタウン2階 眼鏡市場横イベントスペース

3) 参加団体 松倉虎舞(11時～12時)

松倉太神楽(13時～14時)

4) 参加者数 来場者数:130人

体験者数:70人

5 かまいし歴史文化プロモーションを通じた関係人口創出事業

岩手県指定文化財記念講演会「三浦命助と三閉伊一揆」開催結果

1) 開催日時 令和7年9月14日(日)

2) 開催場所 釜石情報交流センター釜石PIT

3) 講師 兼平賢治氏(東北学院大学文学部教授)

4) 参加者 100人

6 佐野家文書調査結果

- 1) 調査日時 令和7年9月15日(月・祝)9時~12時
- 2) 調査場所 釜石市郷土資料館
- 3) 調査対象 佐野家文書
- 4) 調査結果 沿岸部の特徴を示す貴重な資料であり今後の調査を検討

7 有形文化財(建造物)の文化庁調査官視察

- 1) 視察日時 令和7年9月17日(水)13時30分~18時
- 2) 視察箇所 和田家住宅(釜石市橋野町中村)
千手布引観音堂(釜石市栗林町上栗林)
釜石鉱山鉄道一ノ橋橋台跡(釜石市港町汐立)
久保家住宅(釜石市平田町下平田)
- 3) 参加者 北河大次郎主任文化財調査官(文化庁 文化資源活用課)
大沢勝主任指導主事(岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課
文化財担当)
手塚新太課長補佐(釜石教育委員会事務局文化財課)
- 4) 視察結果 文化庁の調査官に市内の有形文化財(建造物)を視察していただき個別にご助言を頂いた。釜石鉱山鉄道一ノ橋橋台跡は史跡部門との指摘があった。

8 記念物(名勝地)の文化庁調査官視察

- 1) 視察日時 令和7年10月7日(水)14時20分~18時
令和7年10月8日(木)8時~15時
- 2) 視察箇所
 - ・令和7年10月7日(火) 御箱崎の千畳敷
 - ・令和7年10月8日(水) 鷺ノ滝、古里の石積畦畔、瀧澤神社と沢松川(市)、ヨドマワリの滝、ママシタの滝、根浜海岸、釜石湾の風景、不動の滝、甲子川の釜石、仙人峠大橋、(追加確認:片羽山、松磯、洞泉の石灰山、釜石鉱山の風景)
- 3) 参加者 平澤毅主任文化財調査官(文化庁 文化財第二課)
大沢勝主任指導主事(岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課
文化財担当)
手塚新太課長補佐(釜石教育委員会事務局文化財課)

加藤幹樹主査（釜石教育委員会事務局文化財課・10/7 参加）

- 4) 視察内容 文化庁の調査官に市内の記念物（名勝地）を視察していただき、個別にご助言を頂いた。

9 郷土芸能映像記録保存会（予定）

1) 日時 令和7年10月26日

2) 場所 釜石市民ホール TETTO ホール A

3) 参加団体 2 団体

尾崎町虎舞（尾崎青年会）、南部藩壽松院年行司支配太神楽